

没後130年

河鍋曉斎

鬼才! Kyosai!

2019

4/6 **土**

~5/19 **日**

● 前期展示:

4月6日(土)
~29日(月・祝)

● 後期展示:

4月30日(火・休)
~5月19日(日)

● 開館時間:

午前10時 - 午後6時
金・土曜日は午後8時まで
入場は閉館の30分前まで

● 休館日: 月曜日

(ただし4月29日(月・祝)、
5月6日(月・休)は開館)、
および5月7日(火)

ドイツから堂々帰還!



美術館

兵庫県立美術館

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

主催: 兵庫県立美術館、毎日新聞社、朝日放送テレビ、神戸新聞社
後援: 公益財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会
特別協力: 公益財団法人 河鍋曉斎記念美術館
監修: 河鍋福美(公益財団法人河鍋曉斎記念美術館理事長・館長、河鍋曉斎曾孫、医学博士)
協賛: 野崎印刷紙業、TKG Foundation for Arts & Culture

河鍋 曉斎

幕末から明治前半にかけて活躍した河鍋暁斎(1831-1889)は幅広い画業で知られています。歌川国芳に学び、狩野派にも入門して絵画を学んだ暁斎は、当時の様々な人との交流のなかで、多様な作品世界を展開しました。彼らとの親交のなかで暁斎は時代の状況を敏感に感じ取り、時に体制批判の精神を培い、また一方で日本的な自然・人間観、身体観、死生観といったテーマを独自の視線で掘り下げながら、無数の作品群を作り上げました。本展は、暁斎が描いた屏風、掛軸、絵馬、引き幕といった多彩な作品群、そして暁斎が手がけた錦絵、挿絵、工芸品、さらには河鍋暁斎記念美術館に所蔵されている下絵や写生、あわせておよそ200点を展示します。鬼才・河鍋暁斎の魅力と才能の全貌に迫るまたとない機会です。

1章 〈幅広い画業〉

多くの画題を様々な表現方法で描いた暁斎。現在の「美術」という言葉では捉えきれない数々の作品世界が作り出されました。



〈河竹黙阿弥作「漂流奇譚西洋劇」パリ劇場表掛りの場〉
明治12年(1879) GAS MUSEUM がす資料館蔵(前期)



《花鳥図》

明治14年(1881) 東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives
(前期2週間 4月21日まで)



《大森彦七鬼女と争う図》

明治13年(1880)
成田山霊光館蔵(通期)

2章 〈眼の思索 下絵からはじまるネットワーク〉

暁斎の下絵を一挙大公開します。
鋭い観察力、洞察力、写生力、
そして描写力がダイレクトに伝わります。



《鳥獣戯画 猫又と狸 下絵》
制作年不詳 河鍋暁斎記念美術館蔵(前期)



《骸骨の茶の湯 下絵》

制作年不詳
河鍋暁斎記念美術館蔵(前期)



《惺々暁斎下絵帖》

弘化3年—明治17年
(1846-1884)
河鍋暁斎記念美術館蔵
(通期、丁替有)

3章 〈民衆の力〉

幕末・明治期は、政治や社会の劇的な変動がありました。
 暁斎は民衆の目線にたって、
 こうした出来事を面白おかしく諷刺する
 錦絵を手がけました。



《海上安全萬代寿》
 文久3年(1863) 河鍋暁斎記念美術館蔵(後期)



《東京名所之内 上野山内一覽之図》
 明治14年(1881) 河鍋暁斎記念美術館蔵(後期)



《風流蛙大合戦之図》 元治元年(1864) 河鍋暁斎記念美術館蔵(前期)

4章 〈身体・精神をつむぐ幕末明治〉

地獄絵や幽霊、美女から観音まで
 ありとあらゆる対象を
 描きつづけた暁斎。
 幕末・明治期という時代だからこそ
 生まれた身体・精神表現の
 本質に迫ります。

「特集展示」では、エルヴィン・フォン・ベルツ
 の旧蔵品で現在ピーティヒハイム・ピンゲン
 市立博物館(ドイツ)所蔵の作品を展示します。

《観世音菩薩像》
 明治12年(1879)以降
 日本浮世絵博物館蔵(前期)



《三味線を弾く女と踊る外国人》
 ピーティヒハイム・ピンゲン市立博物館蔵(通期)



《閻魔・奪衣婆図》
 明治12年(1879)以降 林原美術館蔵(後期)



● 関連イベント

4/7日

記念講演会

「河鍋暁斎のすべて」

講師：河鍋楠美（公益財団法人河鍋暁斎記念美術館理事長・館長、河鍋暁斎曾孫、医学博士）
 日時：4月7日（日）午後2時より（約90分）
 会場：当館ミュージアムホール 定員：250名 聴講無料（要観覧券）

4/13土

おやこ解説会

日時：4月13日（土）午前10時半より（約90分）
 会場：当館レクチャールーム他 定員：20組（要事前申込、先着順）

〈 こどものイベント係 〉

TEL:078-262-0908 3月13日（水）午前10時より受付開始

4/21日

対談

「ふたつの暁斎展」

講師：池田芙美（サントリー美術館主任学芸員）、村田大輔（当館学芸員）
 日時：4月21日（日）午後2時より（約60分）
 会場：当館レクチャールーム 定員：100名 聴講無料（要観覧券）

4/28日

記念解説会

「河鍋暁斎の創造性—写生からの展開」

講師：加美山史子（公益財団法人河鍋暁斎記念美術館主任学芸員）
 日時：4月28日（日）午後2時より（約90分）
 会場：当館レクチャールーム 定員：100名 聴講無料（要観覧券）

5/4土祝

こどものイベント

日時：5月4日（土）午後1時半より（約90分）
 会場：当館レクチャールーム他 定員：20組（要事前申込、先着順）
 ※詳細はこどものイベント係へお問い合わせください。

〈 こどものイベント係 〉

TEL:078-262-0908 4月4日（木）午前10時より受付開始

5/19日

学芸員による解説会

講師：当館学芸員
 日時：5月19日（日）午後2時より（約45分）
 会場：当館レクチャールーム 定員：100名 聴講無料（要観覧券）

ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時：会期中 毎週日曜日 午前11時より（約15分）
 会場：当館レクチャールーム（定員100名）

● 観覧料金 高校生以下無料

一般：1,400円 (1,200) 70歳以上：700円 (600)
 大学生：1,000円 (800) 2枚セット券：2,000円 (前売・一般のみ)

※（ ）内は前売および20名以上の団体料金。前売券は2月1日（金）から4月5日（金）まで販売。70歳以上は前売なし。 ※障がいのある方（70歳以上を除く）は当日料金の半額、その介護の方1名は無料。 ※大学生、70歳以上の当日券の購入および障がい者割引の適用には証明が必要。割引を受けられる方は、会期中に美術館窓口で入場券をお買い求めください。 ※コレクション展は別途観覧料が必要（本展とあわせて観覧される場合は割引あり）。 ※主な販売場所：兵庫県立美術館ミュージアムショップ（前売のみ）、チケットぴあ（Pコード：769-503）、ローソンチケット（Lコード：57170）、セブンチケット、イープラス、CN プレイガイド、阪神プレイガイド（阪神梅田駅）ほか京阪神のプレイガイド。 ※金額はいずれも消費税込金額です。

● 同時開催

3月16日（土）～6月23日（日）

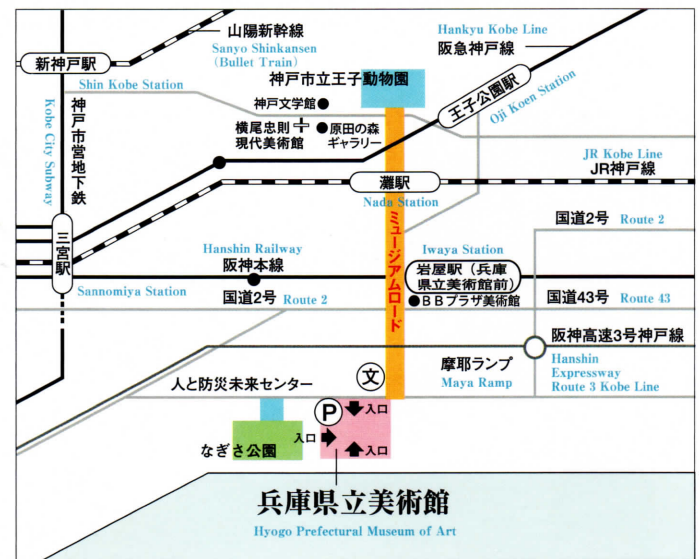
コレクション展 I 「境界のむこう」 (仮題)

1月26日（土）～5月6日（月・振休）

横尾忠則現代美術館

「横尾忠則 大公開制作劇場」

～本日、美術館で事件を起こす



交通案内

- 阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
- JR 神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分
- 阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
- JR 三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101 系統）・
 阪神バスにて約15分「県立美術館前」下車すぐ
- 地下駐車場（乗用車80台収容・有料）

※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。
 団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



兵庫県立美術館
携帯サイト

Find us on
Facebook

兵庫県立美術館 HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目1-1 [HAT 神戸内]
 TEL 078-262-0901(代) <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>

没後130年

河鍋曉斎

鬼才! Kyosai!

2019

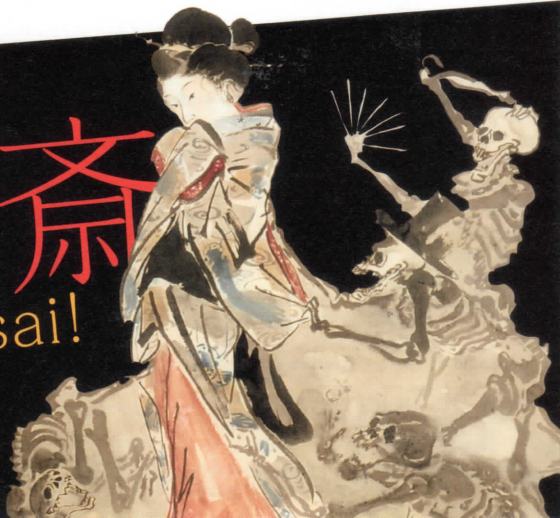
4/6^土 ~ 5/19^日

【前期展示】4月6日(土) ~ 4月29日(月・祝)

【後期展示】4月30日(火・休) ~ 5月19日(日)

休館日:月曜日(ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館)、および5月7日(火)
午前10時 - 午後6時 (金・土曜日は午後8時まで 入場は閉館の30分前まで)

招待券
非売品



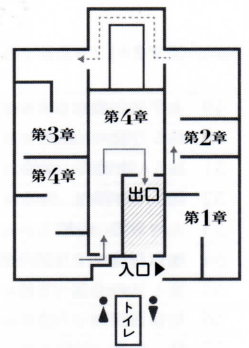
没後130年

河鍋暁斎

2019年4月6日[土] - 5月19日[日]

〈前期〉4月6日[土] - 29日[月・祝]
 〈後期〉4月30日[火・休] - 5月19日[日]

兵庫県立美術館
 HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART



ご来館の皆様へのお願い

- 鑑賞の妨げになりますので、携帯電話の電源はあらかじめお切りください。
- 作品にお手を触れないでください。
- 会場内での写真撮影はご遠慮ください。
- 会場内での飲食(給・ガムなどを含む)はご遠慮ください。
- 会場内でメモを取られる場合は、鉛筆をご使用ください。

- 都合により、リストに掲載されている作品でも展示されていない場合があります。
- 都合により、展示期間が変更される場合があります。
- 作品の展示順序は、必ずしも出品リストの掲載順ではありません。
- 作品保護のため、照明を暗くしている場所があります。
- 作品保護のため、温度湿度を一定に管理しています。

*作家名表記のないものは全て河鍋暁斎による。

1章 幅広い画業

No.	(作家名※) / 作品名	員数	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵者名	展示期間 前期:4/6-29 後期:4/30-5/19
1	毘沙門天像	一幅	嘉永元年(1848)	紙本着色	92.5×28.0	河鍋暁斎記念美術館	前
2	鍾呂伝道図	一幅	文久2年(1862)	絹本墨画淡彩	166.0×82.0	河鍋暁斎記念美術館	後
3	九尾の狐図屏風	二曲一隻	明治3年(1870)以前	絹本墨画	99.0×115.7	河鍋暁斎記念美術館	前後
4	白鷺と猿	一幅	明治17年(1884)	絹本墨画着色	118.2×53.6	河鍋暁斎記念美術館	前
5	柿に鴉	一幅	明治14-22年(1881-89)	絹本墨画淡彩	171.4×49.5	河鍋暁斎記念美術館	後
6	花鳥図	一幅	明治14年(1881)	絹本着色	102.4×71.2	東京国立博物館	前(4/21まで)
7	河鍋暁斎・柴田是真 鯉の滝登り図	一幅	明治19年(1886)	紙本墨画	133.4×51.2	河鍋暁斎記念美術館	後(4/23から)
8	牛若丸図	一幅	明治21年(1888)頃	絹本着色	114.0×41.3	熊本県立美術館	前後
9	河竹黙阿弥作『漂流奇譚西洋劇』 パリス劇場表掛りの場	一面	明治12年(1879)	絹本着色	61.2×88.6	GAS MUSEUM がす資料館	前
10	ロンドン大宴会	一面	明治9-22年(1876-89)	絹本着色	52.5×99.75	河鍋暁斎記念美術館	後
11	大森彦七鬼女と争う図	一面	明治13年(1880)	板地着色	192.0×235.0	成田山靈光館 千葉県指定有形民俗文化財	前後
12	風神雷神図	双幅	明治4-22年(1871-89)	絹本着色	110.9×31.9,111.0×31.9	河鍋暁斎記念美術館	前
13	風神雷神図	双幅	明治4-22年(1871-89)	紙本墨画	各105.7×28.8	株式会社虎屋	後
14	海藻問屋図	一面	明治4-22年(1871-89)	絹本着色	116.5×173.0	個人蔵	前後
15	舞楽 蘭陵王図	一張	明治22年(1889)	綿本墨画着色	227.0×542.5	千代田区教育委員会蔵 千代田区指定有形文化財	前後
16	河竹黙阿弥作『漂流奇譚西洋劇』 米国砂漠原野の図	一面	明治12年(1879)	絹本着色	61.6×90.2	ピーティハイム・ ビッシンゲン市立博物館	前後

2章 眼の思索 下絵からはじまるネットワーク

17	暁斎絵日記	一冊	明治3年,4年,11年(1870,71,78)	紙本墨画淡彩	24.0×17.0	大東急記念文庫	前後
18	暁斎絵日記	二冊	明治18年(1885)	紙本墨画淡彩	各24.0×17.0	河鍋暁斎記念美術館	前後
19	能「黒塚」後シテ 観世流 写生	一枚	安政元年(1854)	紙本着色	23.0×13.0	河鍋暁斎記念美術館	前
20	象 写生	一枚	文久3年(1863)	紙本墨画	12.6×18.4	河鍋暁斎記念美術館	前
21	こども	一枚		紙本墨画	16.0×10.4	河鍋暁斎記念美術館	前
22	虎 写生	一枚		紙本墨画	43.0×32.5	河鍋暁斎記念美術館	後
23	狎 写生	一枚		紙本墨画	53.8×71.3	河鍋暁斎記念美術館	後
24	鳥 写生	一枚		紙本墨画	21.0×24.5	河鍋暁斎記念美術館	前
25	鯉 写生	二枚		紙本墨画	9.5×15,10.5×11.5	河鍋暁斎記念美術館	前
26	猫と鳥 写生	一枚		紙本墨画	19.2×12.5	河鍋暁斎記念美術館	前
27	蝶とトンボ 写生	一枚		紙本墨画淡彩	14.0×28.8	河鍋暁斎記念美術館	前
28	振り向く猫 写生	一枚	明治20年(1887)	紙本着色	31.0×23.8	河鍋暁斎記念美術館	後
29	あひる 写生	一枚		紙本墨画淡彩	28.2×51.0	河鍋暁斎記念美術館	後
30	猫 写生	一枚		紙本墨画	30.0×40.5	河鍋暁斎記念美術館	後
31	鷹 写生	一枚		紙本着色	51.0×24.0	河鍋暁斎記念美術館	前
32	鶏 写生	一枚		紙本着色	30.7×24.3	河鍋暁斎記念美術館	前
33	亀二匹 写生	一枚		紙本墨画	21.6×27.0	河鍋暁斎記念美術館	前
34	独活 写生	一枚		紙本着色	18.0×11.0	河鍋暁斎記念美術館	後
35	木蓮 写生	一枚		紙本着色	19.5×24.5	河鍋暁斎記念美術館	後
36	帯の文様 写生	一枚		紙本墨画淡彩	20.2×37.0	河鍋暁斎記念美術館	後
37	桜 写生	一枚	文久3年(1863)	紙本墨画淡彩	21.3×33.2	河鍋暁斎記念美術館	後
38	惺々暁斎下絵帖	一冊	弘化3年-明治17年(1846-84)	紙本墨画淡彩	36.2×25.5	河鍋暁斎記念美術館	前後
39	スケッチ帳	一冊		紙本墨画淡彩	24.4×17.5	河鍋暁斎記念美術館	前後
40	日光地取絵巻	二巻	明治18年(1885)	紙本墨画淡彩	各14.0×1083.0	河鍋暁斎記念美術館	前後
41	西洋イラスト画集(暁斎収集)	三五枚		切り抜き資料		個人蔵	前後
42	河竹黙阿弥作『漂流奇譚西洋劇』 米国砂漠原野の場 下絵(表) 西洋劇の場 下絵(裏)	一枚 (表裏)	明治12年(1879)	紙本墨画	63.5×94.5	河鍋暁斎記念美術館	前後
43	骸骨の首引き 下絵	一枚		紙本墨画	34.5×49.0	河鍋暁斎記念美術館	前
44	骸骨の茶の湯 下絵	一枚		紙本墨画	27.3×39.3	河鍋暁斎記念美術館	前
45	骸骨三態 下絵	一枚		紙本墨画	20.0×27.5	河鍋暁斎記念美術館	前
46	骸骨の花火見立 下絵	一枚		紙本墨画	27.4×39.3	河鍋暁斎記念美術館	後
47	花を活ける骸骨 下絵	一枚		紙本墨画	27.0×22.0	河鍋暁斎記念美術館	後
48	骸骨の酔態 下絵	一枚		紙本墨画	27.5×39.5	河鍋暁斎記念美術館	後

No.	(作家名※) / 作品名	員数	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵者名	展示期間
49	十字架と戯れる人々 画稿	一枚		紙本墨画	66.5×17.5	河鍋晩斎記念美術館	前
50	踊る万国入 画稿	一枚		紙本墨画	24.4×33.7	河鍋晩斎記念美術館	前
51	踊る人物習作 女性 画稿	一枚		紙本墨画	24.5×34.8	河鍋晩斎記念美術館	後
52	踊る人物習作 男性 画稿	一枚		紙本墨画	24.5×33.5	河鍋晩斎記念美術館	後
53	人物素描 画稿	一枚		紙本墨画	24.2×21.5	河鍋晩斎記念美術館	後
54	地獄極楽めぐり図下絵	四四枚	明治2-5年(1869-72)	紙本墨画	24.0×39.0ほか	河鍋晩斎記念美術館	前後
55	猿と狐の曲芸 下絵	一枚		紙本墨画	52.5×37.5	河鍋晩斎記念美術館	前
56	化猫百福図 下絵	一枚		紙本墨画淡彩	24.0×32.5	河鍋晩斎記念美術館	前
57	蛙の軽業 下絵	一枚		紙本墨画	37.0×26.7	河鍋晩斎記念美術館	前
58	カエルとコウモリ、虫の学 下絵	一枚		紙本墨画	22.8×28.8	河鍋晩斎記念美術館	後
59	踊る魚 下絵	一枚		紙本墨画	39.0×27.5	河鍋晩斎記念美術館	後
60	蛙戯画 下絵	一枚		紙本墨画	19.7×27.0	河鍋晩斎記念美術館	後
61	鳥獣戯画 猫又と狸 下絵	一枚		紙本着色	57.5×60.8	河鍋晩斎記念美術館	前
62	鳥獣戯画 フクロウと狸 下絵	一枚		紙本着色	53.2×60.6	河鍋晩斎記念美術館	後
63	洋食屋 下絵	一枚	明治10年(1877)	紙本墨画淡彩	14.3×11.5	河鍋晩斎記念美術館	前
64	ススキミヅク売りの母子 下絵	一枚		紙本墨画	20.0×26.0	河鍋晩斎記念美術館	前
65	達磨の戯画 下絵	一枚		紙本墨画	24.0×21.4	河鍋晩斎記念美術館	前
66	浴場図 下絵	一枚		紙本墨画	41.5×59.0	河鍋晩斎記念美術館	後
67	群猫百態 团扇絵 下絵	一枚		紙本墨画、朱	22.0×30.5	河鍋晩斎記念美術館	後
68	郭子儀図 下絵	一枚		紙本墨画	111.0×68.0	河鍋晩斎記念美術館	前
69	文読む美人 下絵	一枚		紙本墨画	109.7×51.2	河鍋晩斎記念美術館	前
70	女人群像 下絵	一枚		紙本墨画	86.5×111.5	河鍋晩斎記念美術館	前
71	閻魔大王の浄玻璃の鏡 下絵	一枚		紙本墨画	41.2×57.1	河鍋晩斎記念美術館	前
72	閻魔図 下絵	一枚	明治15年(1882)	紙本墨画、朱	54.3×36.3	河鍋晩斎記念美術館	前
73	龍頭観音図 下絵	一枚		紙本墨画淡彩	119×58.5	河鍋晩斎記念美術館	前
74	日本武尊の熊襲退治 下絵	一枚	明治12年(1879)	紙本墨画、朱	106.5×58.5	河鍋晩斎記念美術館	前
75	日本武尊 下絵	一枚		紙本墨画	49.0×30.0	河鍋晩斎記念美術館	前
76	龍神と侍者・侍者 下絵	一枚	明治13-14年(1880-81)	紙本墨画	63.5×25.4	河鍋晩斎記念美術館	後
77	龍神と侍者・龍神 下絵	一枚	明治13-14年(1880-81)	紙本墨画	67.0×44.5	河鍋晩斎記念美術館	後
78	幽霊図 下絵	一枚		紙本墨画	81.8×32.2	河鍋晩斎記念美術館	後
79	極楽図衣裳の美人 下絵	一枚		紙本墨画	77.3×43.5	河鍋晩斎記念美術館	後
80	吉原遊宴図 下絵	一枚		紙本墨画	43.4×65.5	河鍋晩斎記念美術館	後
81	達磨の耳かき図 下絵	一枚		紙本墨画	38.5×56.0	河鍋晩斎記念美術館	後
82	巨象と美人 下絵	一枚		紙本墨画	23.5×33.5	河鍋晩斎記念美術館	後
83	日本の神々 下絵	一枚	明治12年(1879)	紙本墨画淡彩	92.3×54.8	河鍋晩斎記念美術館	後
84	山姥図 下絵	一枚		紙本墨画	92.0×49.5	河鍋晩斎記念美術館	後
85	二十四孝 版下絵	二四枚		紙本墨画	各24.1×19.4	河鍋晩斎記念美術館	前後

3章 民衆の力

No.	(作家名※) / 作品名	員数	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵者名	展示期間
86	河鍋晩斎/文: 仮名垣魯文 老なまづ		安政2年(1855)		大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
87	牛天神		元治元年(1864)		甘泉堂板 大判錦絵縦二枚繋	河鍋晩斎記念美術館	後
88	河鍋晩斎/口上: 仮名垣魯文 蘭人猛虎生拘図		万延元年(1860)		恵比須屋板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
89	河鍋晩斎/口上: 仮名垣魯文 今昔未見生物猛虎之真図		万延元年(1860)		恵比須屋板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
90	天竺渡来大評判 象の戯遊 道成寺 鼻持 曲こま 角べゑ獅子		文久3年(1863)		恵比須屋庄七板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
91	曲結雅画手本 だいこくほか		文久3年(1863)		上州屋板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
92	蒙古俄船退治之図		文久3年(1863)		藤岡屋慶次郎板 大判三枚続	河鍋晩斎記念美術館	前
93	海上安全万代寿		文久3年(1863)		大黒屋金之助・金次郎板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
94	風流蛙大合戦之図		元治元年(1864)		スハ井板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	前
95	狂斎百狂 どふけ百万編		元治元年(1864)		大金板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
96	河鍋晩斎・三代豊国 江戸名所 築地浪除勝景		元治元年(1864)		大金板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	前
97	江戸名所 築地浪除乃夜景		元治元年(1864)		大黒屋金之助・金次郎板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
98	僧正坊 鞍馬天狗 牛若丸		文久3年(1863)		上州屋板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	前
99	狭客日本魂於迷府大猛勇頭		元治元年(1864)		山口屋藤兵衛板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
100	難波戦記之内 徳川家康公		明治4-22年(1871-89)		恵比須屋庄七板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	前
101	先將軍徳川家累代像		明治4-22年(1871-89)		沢村清吉板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
102	明治元戊辰年五月十五日 東台戦争落去之図		明治7年(1874)		恵比須屋庄七板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	前
103	暴徒川尻本陣図		明治10年(1877)		武川清吉板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
104	東京名所之内 上野山内一覽之図		明治10年(1877)		武川清吉板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	前

No.	(作家名※) / 作品名	員数	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵者名	展示期間
105	東京名所之内 上野山内一覽之図		明治14年(1881)		武川清吉板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
106	滑稽狂画双六		文久2年(1862)		錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
107	古画眺画双六		明治4-22年(1871-89)		武川清吉板 錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
108	とくはかに五万歳		明治4-22年(1871-89)		錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
109	鳥獸行列		明治4-22年(1871-89)		錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
110	猫を捕まえる鼠		明治4-22年(1871-89)		錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
111	蛇を捕まえる蛙		明治4-22年(1871-89)		錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
112	伊蘇普物語之内 畜犬と狼の話		明治6年(1873)頃		中判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
113	伊蘇普物語之内 羊と狼の話		明治6年(1873)		上州屋重蔵板 中判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
114	伊蘇普物語之内 野猪と狐の話		明治6年(1873)		上州屋重蔵板 中判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
115	伊蘇普物語之内 裁判所の燕の話		明治6年(1873)頃		中判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
116	眺斎楽画 第一号 地獄の文明開化		明治7年(1874)		沢村屋板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
117	眺斎楽画 第三号 化々学校		明治7年(1874)		沢村屋板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
118	眺斎楽画 第四号 極楽の開化		明治7年(1874)		沢村屋板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
119	眺斎楽画 第五号 不動明王開化		明治7年(1874)		沢村屋板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	後
120	新板大黒天福引之図		明治20年(1887)		武川卯之吉板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	前
121	新板七福神市原野見(丑)図		明治21年(1888)		武川卯之吉板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
122	元禄日本錦 わ 堀部安兵衛武庸		明治19年(1886)		武川清吉板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
123	元禄日本錦 け 倉橋伝助武幸 や 岡嶋八十右エ門常樹		明治19年(1886)		武川清吉板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
124	元禄日本錦 み 松三太夫高直		明治19年(1886)		武川清吉板 大判錦絵	河鍋晩斎記念美術館	前
125	十二月之内五月 MAY		明治20年(1887)		福田熊次郎板 大判錦絵三枚続	河鍋晩斎記念美術館	後
126	河鍋晩斎・大沼枕山・奥原晴湖ほか 書画会の図	一幅	明治9年(1876)	紙本墨画淡彩	131.5×65.5	個人蔵	前
127	河鍋晩斎・中根半嶺・中島杉陰ほか 書画展覧余興之図	一幅	明治14年(1881)頃	紙本墨画淡彩	173.4×78.3	河鍋晩斎記念美術館	後
128	河鍋晩斎・福島柳圃・柳田正斎・伊藤桂洲・ 大沼枕山・巻菱譚・服部波山 七福神書画会図	一幅	明治15年(1882)頃	紙本墨画淡彩	132.4×63.1	河鍋晩斎記念美術館	前
129	河鍋晩斎/賛:秋月種樹 天狗集会之図	一幅	明治15-22年(1882-89)	紙本墨画淡彩	138.0×31.0	河鍋晩斎記念美術館	後
130	書画会図巻	一卷	明治14-22年(1881-89)	紙本墨画	33.6×133.2	河鍋晩斎記念美術館	前
131	河鍋晩斎/賛:伊藤桂洲 福女書画会図巻	一面	明治4-22年(1871-89)	紙本墨画淡彩	32.6×128.3	河鍋晩斎記念美術館	後
132	瓜生政和編、岩本俊出版人 『眺斎画談』	内蔵上下巻・ 外蔵上下巻 四冊	明治20年(1887)	版本	25.4×17.5	河鍋晩斎記念美術館	前後
133	牧野吉兵衛版 『眺斎漫画』	初編 一冊	明治14年(1881)	版本	22.5×14.9	河鍋晩斎記念美術館	前後
134	出版人:武田伝右衛門・ 森田鉄五郎、彫工:大塚鉄五郎 『眺斎楽画』	乾坤 二冊	明治14年(1881)	版本	22.5×15.0	河鍋晩斎記念美術館	前後
135	武田文永堂板 『眺斎鈍画』	一冊	明治14年(1881)	版本	11.6×17.1	河鍋晩斎記念美術館	前後
136	岩本俊発行 『眺斎百鬼画談』	一冊	明治22年(1889)	版本	21.2×12.1	河鍋晩斎記念美術館	前後
137	仮名垣魯文著 『絵新聞日本地』第二号	一冊	明治7年(1874)	版本	22.7×15.2	京都精華大学 国際マンガ研究センター	前後
138	仮名垣魯文編、萬笈閣(梶屋喜兵衛) 『西洋料理通』	上下巻 後編 三冊	明治5年(1872)	版本	17.2×12.4	河鍋晩斎記念美術館	前後
139	総生寛著、萬笈閣版 『万国航海 西洋道中膝栗毛』	12~15編 四冊	明治3-9年(1870-76)	版本	18.2×12.2	河鍋晩斎記念美術館	前後
140	万亭応實著、仙鶴堂梓 『文名皆化 和談三才図笑』	一冊	明治6年(1873)	版本	18.1×12.3	河鍋晩斎記念美術館	前後
141	万亭応實著、金松堂 『釈迦八相倭文庫』口絵	五枚	明治18年(1885)	錦絵	17.9×12.1,17.8×12.1,18.4×22.4, 17.8×12.0,17.8×12.4	河鍋晩斎記念美術館	前後
142	小川為治著、二書屋発行 『開化問答』	二冊	明治7年(1874)	版本	22.1×15.1	河鍋晩斎記念美術館	前後
143	高橋義雄著、大倉安五郎出版 『拝金宗 一名商売ノススメ』	一冊	明治20年(1887)	版本	18.6×12.5	河鍋晩斎記念美術館	前後
144	東京開化名所文筒	袋一枚、 封筒九枚	明治10-22年(1877-89)	摺物・色摺	封筒:18.9×6.1、袋:25.7×7.2	河鍋晩斎記念美術館	前後
145	鬼面型硯	一合	明治4-22年(1871-89)	木製・石・漆塗	5.7×23.7×25.5	河鍋晩斎記念美術館	前後
146	百鬼夜行筆洗	一基	明治4-22年(1871-89)	陶製	径:30.2 高:8.9	河鍋晩斎記念美術館	前後

4章 身体・精神をつむぐ幕末明治

No.	(作家名※) / 作品名	員数	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵者名	展示期間
147	月に狼図	一幅	明治14-22年(1881-89)	絹本着色	124.7×55.7	河鍋晩斎記念美術館	前
148	文昌星之図	一幅	明治20年(1887)	絹本着色	124.2×55.4	河鍋晩斎記念美術館	後
149	九相図	一図		紙本着色	28.7×134.0	河鍋晩斎記念美術館	前
150	卒都婆小町図 下絵	一卷		紙本墨画	28.6×641.8	河鍋晩斎記念美術館	前
151	盲人百態図巻	一卷	明治4-22年(1871-89)	紙本墨画淡彩	31.5×1339.2	河鍋晩斎記念美術館	後
152	放屁合戦絵巻	二巻	慶応3年(1867)	紙本墨画淡彩	各28.2×897.0	河鍋晩斎記念美術館	前後
153	処刑場跡描絵羽織	一領	明治4-22年(1871-89)	紙本墨画淡彩	桁67.丈88	京都府(京都文化博物館管理)	前
154	眠龍図	一幅	明治4-22年(1871-89)	紙本墨画淡彩	136.5×176.3	雲雲寺 文京区指定有形文化財	後
155	三味線を弾く女と踊る外国人	一面		紙本墨画着色	34.22×57.5	ピーティヒハイム・ピッツンゲン市立博物館	前後
156	九相図	一面		紙本墨画淡彩	92.2×32.0	ピーティヒハイム・ピッツンゲン市立博物館	前後
157	美女の袖を引く骸骨たち	一幅		紙本墨画着色	162.2×86.7	ピーティヒハイム・ピッツンゲン市立博物館	前後
158	閻魔を彫る左甚五郎	一面		紙本墨画淡彩	116.4×35.5	ピーティヒハイム・ピッツンゲン市立博物館	前後
159	夫婦喧嘩は犬も食わぬ	一面		絹本着色	54.5×98.0	ピーティヒハイム・ピッツンゲン市立博物館	前後
160	柳の木にとまるカラス	一面		絹本淡彩	138.8×63.2	ピーティヒハイム・ピッツンゲン市立博物館	前後
161	豊干禪師と寒山拾得図	一幅	明治3年(1870)以前	紙本墨画	175.6×366.6	東京国立博物館	前(4/21まで)
162	豊干禪師と寒山拾得図	一幅	明治9年(1876)	紙本墨画淡彩	173.1×97.4	個人蔵	後(4/23から)
163	幟鍾馗之図	一幅	明治12-22年(1879-89)	絹本着色	153.1×56.6	河鍋晩斎記念美術館	後(4/23から)
164	河鍋晩斎・龍和亭 松に鍾馗と鬼	一幅	明治4-22年(1871-89)	紙本墨画淡彩	144.0×48.0	河鍋晩斎記念美術館	後(4/23から)
165	鯉魚遊泳図	一幅	明治18-19年(1885-86)	絹本墨画金泥	171.4×84.3	河鍋晩斎記念美術館 (ジョサイア・コンドル旧蔵)	前
166	蝦蟇仙人・鉄拐仙人図	双幅	明治19年(1886)	絹本着色	各90.4×28.9	河鍋晩斎記念美術館 (ジョサイア・コンドル旧蔵)	後
167	虎図	一面		紙本墨画	138.0×142.7	正行院	前後
168	山姥図	一幅	明治17年(1884)頃	絹本着色	153.6×83.3	東京国立博物館	前
169	姑獲鳥図	一幅	明治4-22年(1871-89)	紙本墨画	118.7×51.1	河鍋晩斎記念美術館	後
170	地獄極楽図	一幅	明治時代	麻布着色	199.6×342.4	東京国立博物館	前
171	閻魔・奪衣婆図	双幅	明治12-22年(1879-89)	絹本着色	各112.8×40.3	林原美術館	後
172	上置閻魔図	一幅	明治元年(1868)	紙本着色	73.0×26.0	個人蔵	後
173	閻魔庁図	双幅	明治12-22年(1879-89)	絹本墨画淡彩	109.8×43.4、 110.5×43.4	熊本県立美術館	後
174	幽霊図	一幅	慶応3年(1867)	紙本墨画淡彩	100.0×28.0	福岡市博物館	前
175	幽霊図	一幅	明治3年(1870)	紙本墨画淡彩	100.0×35.3	福岡市博物館	後
176	ひな祭り図	一幅	明治3年(1870)	絹本着色	117.0×50.6	個人蔵	前後
177	惺々狂斎画帖(1)	一冊	明治3年(1870)以前	紙本着色	各12.7×17.7	河鍋晩斎記念美術館	前後
178	惺々狂斎画帖(2)	一冊	明治3年(1870)以前	紙本着色	各12.6×17.4	河鍋晩斎記念美術館	前後
179	風俗鳥獸画帖	一冊	明治2-3年(1869-70)	絹本着色	各19.1×14.6	個人蔵	前後
180	伊邪那岐と伊邪那美	一幅	明治3年(1870)以前	絹本着色	91.5×32.2	河鍋晩斎記念美術館	前
181	浦島太郎に鶴と亀	三幅対	明治20年(1887)	絹本着色	各87.2×30.3	個人蔵(ジョサイア・コンドル旧蔵)	前
182	日本神話 島々の誕生	一面	明治11年(1878)	紙本着色	24.7×21.6	山口静一氏	後
183	日本神話 神々の形成	一面	明治11年(1878)	紙本着色	24.7×21.6	山口静一氏	後
184	日本神話 須佐男命の追放	一面	明治11年(1878)	紙本着色	24.7×21.6	山口静一氏	後
185	日本神話 天孫降臨	一面	明治11年(1878)	紙本着色	24.7×21.6	山口静一氏	後
186	日本神話 海幸と山幸	一面	明治11年(1878)	紙本着色	24.7×21.6	山口静一氏	後
187	河鍋晩斎・河鍋晩翠 霊山群仙図	一幅	文久年間-明治25年 (1861-92)	絹本着彩	128.6×41.7	河鍋晩斎記念美術館	前
188	日課菅公	一幅	明治20年(1887)	紙本墨画	58.5×26.3	河鍋晩斎記念美術館	後
189	天神像	一幅	明治11年(1878)	紙本墨画淡彩	98.7×29.5	河鍋晩斎記念美術館	前
190	野見宿禰図	一面	明治17年(1884)	板面着色	57.7×34.7	松浦武四郎記念館	後
191	羅漢に蛇図	一幅	明治19年(1886)	紙本墨画淡彩	132.6×60.0	河鍋晩斎記念美術館	前
192	文殊菩薩像	一幅		紙本墨画淡彩	116.1×39.0	河鍋晩斎記念美術館	後
193	正面向きの天女 下絵	一面		紙本墨画	184.5×151.0	河鍋晩斎記念美術館	前
194	華籠を持つ天女 下絵	一面		紙本墨画	166.8×192.2	河鍋晩斎記念美術館	後
195	白衣観音図	一幅	明治12-22年(1879-89)	絹本墨画淡彩	116.2×41.6	河鍋晩斎記念美術館	前
196	滝見観音図	一幅	明治4-22年(1871-89)	絹本墨画金彩	122.7×41.7	河鍋晩斎記念美術館	後
197	観世音菩薩と龍神図	三幅対	明治4-22年(1871-89)	紙本墨画	各111.0×39.0	東京黎明アートルーム	前
198	龍神に観音図	双幅	明治12-22年(1879-89)	絹本墨画	124.9×53.9、 124.9×53.8	河鍋晩斎記念美術館	後
199	観世音菩薩像	一幅	明治12-22年(1879-89)	絹本着色	117.0×50.6	日本浮世絵博物館	前
200	観瀑観音図	一幅	明治12-22年(1879-89)	紙本墨画金彩	114.3×30.4	河鍋晩斎記念美術館	後
201	日課観音図(明治18年9月26日)	一幅	明治18年(1885)	紙本墨画	96.6×27.0	河鍋晩斎記念美術館	前
202	日課観音図(明治18年10月31日)	一幅	明治18年(1885)	紙本墨画	53.5×27.5	河鍋晩斎記念美術館	後
203	日課観音図(明治18年10月25日)	一幅	明治18年(1885)	紙本墨画	58.4×27.2	河鍋晩斎記念美術館	前
204	日課観音図(明治20年5月29日)	一幅	明治20年(1887)	紙本墨画	60.8×26.1	河鍋晩斎記念美術館	後
205	日課観音図(明治20年12月7日)	一幅	明治20年(1887)	紙本墨画	56.5×27.0	河鍋晩斎記念美術館	前
206	日課観音図(明治22年1月3日)	一幅	明治22年(1889)	紙本墨画	62.0×27.0	河鍋晩斎記念美術館	後